

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

2016(28)年 週 報

5月8日

「光の結ぶ実」

第2聖日

第3454号

聖
言

光の結ぶ実は、あらゆる善意と正義と真実なのです。エペソ5：9

主の弟子となる③
「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るよう、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終りまで、いつも、あなたがともになります。」(マタイ二八一九、二〇)。
第四課では、「教え」を自分のものとすることの重要性について学びます。「教え」は、学習するだけでよしとするのではなく、弟子たちの生活を形成し、変革していくことを目指していました。第五課では、どのように生活し、周囲と関わっていくべきかという、生き方に焦点を当てます。
弟子となるということは、一つには、福音を信じるという最初の一步から始まって、イエス・キリストにつき従う者となることです。さらにもっと完全な意味において弟子となるということは、イエス・キリストご自身とその教えに習う者、徒弟になることです。徒弟は、主人の教えに完全に習得しなければなりません。では真の弟子となるための歩みをはじめましょう。

(CIBTE主の弟子より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一六年五月八日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「光の結ぶ実」

「光の結ぶ実とは、あらゆる善意と正義と真実なのです。」（エペソ五ノ九）

祈り

今日は母の日です。あなたの父と母を敬いなさいという十戒の言葉をアメリカの教会学校の教師であるジャスビーさんが、十戒のあなたの父と母を敬いなさい。という御言葉を教えていました。年月がた、母の記念会にそれを思い出し、カネーションを飾り、母を偲びました。それを聞いたワナメーカーというデパートメントストアの創立者が自分の店で母にカネーションを贈る事をはじめました。それがアメリカ全土に広がったのです。生きているお母さんには赤い、召されたお母さんには白いカネーションを贈るのです。戦争で天皇陛下万歳というよりお母さんと言つて突撃したそうです。いつまでもあると思うな親と金。いつまでもないと思うな聖霊の聖潔。私は祈れない。きよくならない。伝道できない。聖書を読めない。といつてはなりません。神はあなたを作り変えて下さいます。なぜなら、以前は暗やみでしたが、今は主にあつて光となりました。光そのものになりました。エペソの信者の身分が変えられたことが主に起因している入ることを明示しつつ（八節）その身分にふさわしく生きて行くことを命じます。その生き方は善意と正義と真実であるところの実を聖徒にもたらし（九節）それによつて聖徒は、神に喜ばれることを見分けることができるようになります。井本名人が全てを勝ち前人未踏の七冠を達成しました。コンピュータの万能の知恵が与えられて勝つたのでなく、対局者との対戦で、考え抜いてどうしたら陣地を多く確保できるかと考え考え抜いた末にそれも、敵より先に陣地を獲得できた

ために勝つことができました。私は碁や将棋はできませんが、信仰というものも、棚ぼた式で祝福を得るものでなく、光の子と変えられたものは善意と正義と真実をもたらします。それによつて神に喜ばれることを見分けることができ、最終的には神に喜ばれる実を結びます。エペソの聖徒に実を結ばない暗やみの業に加わる者がいた。不正で富を得、不倫で欲望を満たそうとする者がいた。光の子は「実を結ばない暗やみのわざ」に加わつてはいけません。

二〇一六年五月四日午後七時 祈禱会 山本牧師

「強力な角」（ダニエル連第一八回）

「そのうちの一本の角から、また一本の小さな角が芽を出して、南と、東と、麗しい国とに向かって大きくなつていた。これは天の万軍に及ぶまで力を伸ばして、その万軍つまり星のうちの幾つかを地に投げ落とし、踏みじつた。」

—（ダニエル八ノ九、一〇）

古代近東では、星の軍勢とは神々の会合を語るものであり、神々の多くが天体で表現されていた。申命記一四ノ一九では、太陽と月と星に対する崇拜を禁止している。ある箇所では「天の万象が実際の天体の星の意味している（イザ三三ノ四、創一ノ一、詩篇三三ノ六）。角を持つ雄羊はメデイヤとペルシヤの王国を表している。雄山羊とはギリシヤの王あるいはギリシヤ帝国のことである。二つの角は具体的で表記されていることから、特定の二人の王を表している。この幻はギリシヤ帝国よりさらにあとの時代は触れられていない。この帝国の支配者は真の君主を冒瀆し、奇妙な方法で折られるが幻による啓示はここで中断され「聖所の回復」（二四）のときとなる。「終りの時」に注目が集まるのである。神の王国にかんしては一言もふれられていない。著者は何らかの理由でギリシヤ時代、特に分裂した帝国のうちの一方から起る暴虐な支配者にスポットを当てたのです。